

★定時上映 4月29日(金・祝)～7月10日(日)

星空解説「今夜、なにがみえるかな」2022 春

春の夜空にはいくつかの明るい星が際だって見えます。おおぐま座からたどるうしかい座のアルクトゥールス。おとめ座のスピカ。目印になる春の大曲線を軸に春に見える星座のお話しをします。

テーマ番組「地球 ～生命～」

生命の存在が確認できている星は唯一、地球だけです。宇宙に無数にある星々。他の星に生命が存在する可能性はあるのでしょうか？ 探査の最前線を紹介するとともに、改めて地球を見つめなおしてみる番組です。

☆土日祝日の上映時刻	テーマ番組 10:00～/13:00～/15:00～
	星空解説 11:00～/14:00～/16:00～
	テーマ番組、星空解説ともに約15分間

☆平日のみ団体上映を受付。(2日前までに要予約。ただし、休館日を除く)
・定員：各回先着28名(上映1時間前から発券。席の間隔を空けてご案内します)
・費用：高校生以上100円(中学生以下無料)
※新型コロナウイルス感染対策として定員50人を28人に減じています。
また、マスク着用・手指の消毒・連絡先の記入などにご協力を頂いております。

★星空たんけん観望会

「春の星空 銀河と星団を見よう！」

星空の見方を学ぶ講座と星空観望会

日時：5月28日(土)

18:45～20:15(18:30受付開始)

集合場所：水の館3階事務室前

費用：100円(中学生以下は無料)

持物：懐中電灯(赤色灯推奨)

定員：先着28人 ※小学生以下は保護者同伴

申込・問合せ：水の館 TEL 04-7184-0555

電話で要申込

5月17日(火)～5月27日(金) 17:00まで

※雨天・曇天の場合、星空観望会は中止。プラネタリウムで番組を鑑賞します。



◇Enjoy 手賀沼! 実行委員会

手賀沼周辺のイベント情報

◇クリーン手賀沼推進協議会

Enjoy
えんじょい でがぬま
手賀沼!
2022 日時：5月8日(日)
9:00～15:30
Enjoy 手賀沼! は、風薫る5月の第二日曜に、一人ひとりが手賀沼とのかかわりを感じながら楽しく一日を過ごすイベントです。

場所：手賀沼親水広場 水の館/鳥の博物館
費用：1家族100円(感染症対策費として)
当日、鳥の博物館・水の館プラネタリウム入館無料
※雨天決行(一部中止・変更あり)

<http://abiko-city.jp/enjoy-teganuma/>

【お問合せ】我孫子市 手賀沼課 TEL.04-7185-1484
<前日・当日> TEL.080-4327-4800
メール enjoy@tegado.com



「遊覧船で手賀沼について学ぼう！」

我孫子市のシンボル・手賀沼を遊覧船から眺めてみませんか？
手賀沼の歴史と現状、生き物についてガイドいたします。

日時：5月28日(土) ※雨・強風は中止

①10:30～ ②13:30～

(各回60分、受付は各回15分前～)

集合：手賀沼公園「湖上園」前

対象：どなたでも(小学生以下は保護者同伴)

定員：各回30名(要申込)

費用：無料

申込：5月17日(火)～27日(金)までに手賀沼課へ

住所・氏名・年齢・電話番号をご連絡ください。

(家族、グループの場合は全員分の氏名と年齢が必要です)



特別ニュース!

水の館プラネタリウムがリニューアルして、同規模の施設では全国トップレベルの美しい星空を表現できるようになったうなあ！
新型プロジェクターで映し出される星々を楽しんでほしいうなあ！

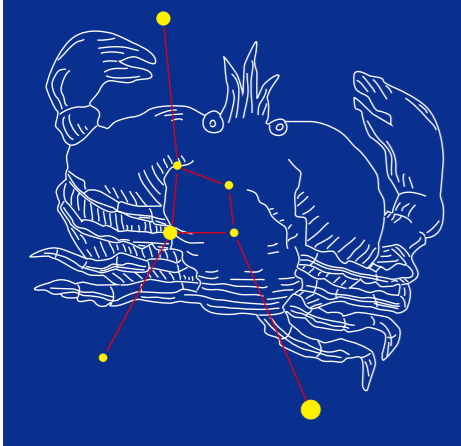


我孫子市マスコットキャラクター
手賀沼のうなきちさん

星座の物語 ～春の星座たち～

春の星座を見つけるには、おおぐま座、うしかい座、おとめ座へとたどる春の大曲線が有名です。全体的に明るい星の少ない夜空になりますが、夜空には様々な星座が描かれています。実際に見つけるのは難しいかも知れませんが、昔の人々がどんな想いで様々な星座を描いたのか、想いを馳せるのも素敵な時間になることでしょう。

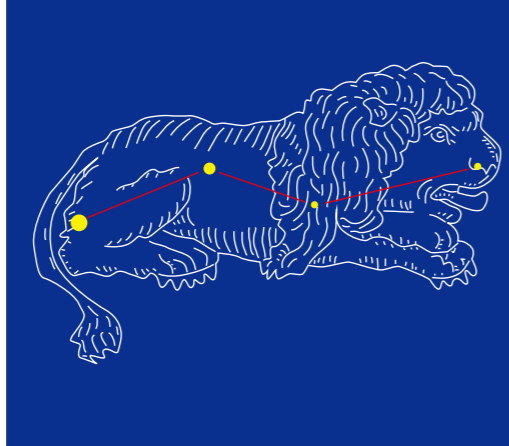
かに座



お誕生日の星座として有名です。ふたご座としし座の間にあります。ギリシャ神話では、ししの友達（仲間）として描かれたりしています。甲羅の部分にはプレセペ散開星団という、星の集まりがあります。双眼鏡で見ることができます。

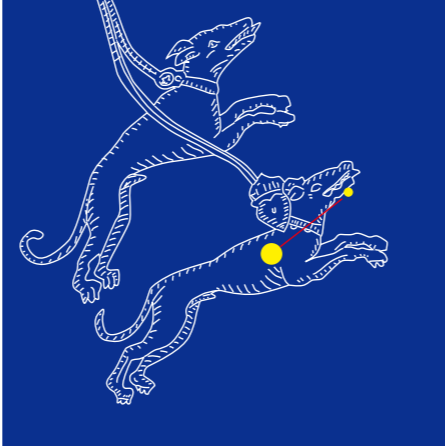
かつて星座は神話とともに語られてきましたが、今は夜空の住所のように使われる機会が多くなりました。全ての星が、88星座のどれかに属しています。神話のない星座も星空の住所としての役割を担っています。

こじし座

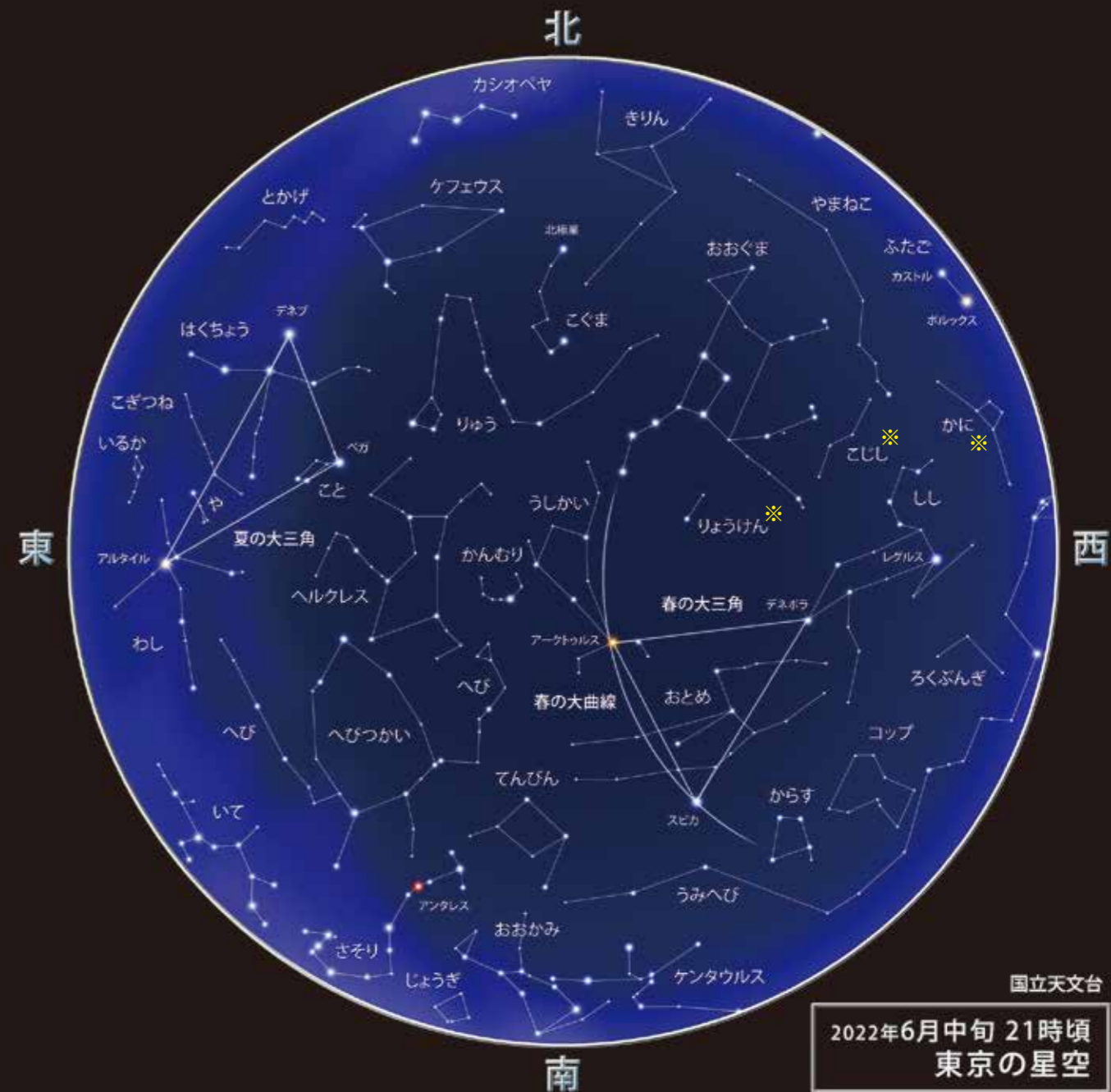


1600年代に天文学者のヘベリウスが作った星座です。しし座とおおぐま座を埋めるようにあります。明るい星も少なく、目立たない星座です。天文学が進むにつれて、天文学者が星座を作り出すようになってきました。

りょうけん座



暗い星ばかりで作られている星座です。全天にある88星座の中でも見つけにくい星座のひとつです。分かりやすいふたご座やおおぐま座に接するように存在します。



星空紹介コーナーの星座は※マークが付いています。

国立天文台
2022年6月中旬 21時頃
東京の星空

2022年春の天文イベント

日付	天文現象	説明
4月27日 ～5月4日頃	金星と木星が接近	明るく輝く惑星、金星と木星が接近します。もっとも近づいて見えるのは5月1日の明け方。この時は月の直径の半分ほどにまで近づいて見えます。明るい星どうしの接近ですので見応えがあるでしょう。GW中ですので早起きをして是非観察してみてください。
5月22日 ～27日	月が土星、火星、木星、金星に接近	月を目印に惑星を見つけることができます。惑星は明るく見えるのですが、星座早見盤にも記載がなく、どの星がどの惑星なのかを判断するのに迷ってしまいます。月を目印に惑星を確認してみましょう。月が5月22日に土星のそば、25日には火星と木星のそば、そして27日には金星のそばに輝いています。いずれも日が昇る前の夜空で見ることができます。
6月18日前後	惑星が勢ぞろい	惑星に関連した天文現象が続きます。明るい惑星だけではなく、水星、天王星、海王星も加えて8個の惑星全てが明け方の夜空に並びます。惑星は太陽の通り道、「黄道」のそばを移動していきます。ほぼ一直線に並んでいる惑星を見ると太陽系の姿を想像できるかもしれません。ただ天王星、海王星は暗く、肉眼での観察は難しい惑星になります。

星空ギャラリー

宇宙と地球、そして生命の進化に大きく関わる鉄の話など、生命の進化と地球との関わりについて、実物標本を展示しながら紹介します。



ストロマトライトの化石



マンモスの歯の化石

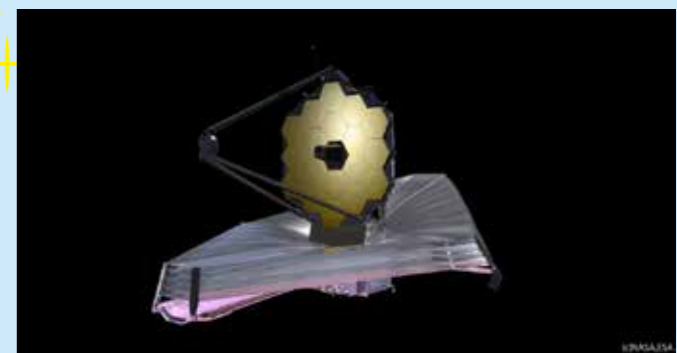


恐竜のたまご

天文ニュース

～ジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡～

構想から25年。2021年12月25日、大型の宇宙望遠鏡、ジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡が打ち上げられました。主鏡の直径は約6.5m。今も活躍するハubble宇宙望遠鏡の3倍近くあります。投じられる予算は約1兆円。宇宙で最初にできた星の観測などを行います。



星空ミニクイズ

世界で最初にプラネタリウムを作ったのは、どの国でしょう？



- ①アメリカ ②ドイツ ③日本

答えは水の館3階、プラネタリウム横のスタンプコーナーで説明しています。

2022年度春のスタンプ

スタンプはプラネタリウムの横にあるよ